



Title	瀧口剛教授 略歴・主要著作目録
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2024, 74(3-4), p. 549-553
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/99488
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

瀧口 剛教授 略歴

- 1958（昭和33）年10月 大阪府豊中市に生まれる
1977（昭和52）年 3月 大阪府立豊中高等学校卒業
1978（昭和53）年 4月 大阪大学法学部入学
1983（昭和58）年 3月 大阪大学法学部卒業
同 年 4月 阪神電気鉄道株式会社入社
1984（昭和59）年12月 阪神電気鉄道株式会社退社
1985（昭和60）年 4月 大阪大学大学院法学研究科博士前期課程公法学専攻入学
1988（昭和63）年 3月 大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了
同 年 4月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程公法学専攻入学
1991（平成 3）年12月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
同 年12月 筑波大学社会学系準研究員
1993（平成 5）年 4月 近畿大学法学部専任講師
1995（平成 7）年 3月 博士（法学）（大阪大学）取得
1996（平成 8）年 4月 近畿大学法学部助教授
1997（平成 9）年 4月 大阪大学法学部助教授
1999（平成11）年 4月 大阪大学大学院法学研究科助教授
2003（平成15）年 3月 大阪大学大学院法学研究科教授
2008（平成20）年 4月 大阪大学評議員（2010年 3月まで）
2014（平成26）年12月 大阪大学評議員（2016年 3月まで）
2018（平成30）年 4月 大阪大学評議員（2021年 3月まで）
2021（令和 3）年 4月 大阪大学大学院法学研究科長・法学部長（2023年 3月まで）
2022（令和 4）年 4月 大阪大学人文社会科学系戦略会議議長・総長参与（2023年 3月まで）
2024（令和 6）年 3月 大阪大学定年退職
同 年 4月 大阪大学名誉教授

主要著作目録

I 著書

『明石市史 現代編Ⅰ』（分担共著）明石市	1999年
『明石市史 現代編Ⅰ 資料・統計』（分担共著）明石市	2001年
『日本政治：過去と現在の対話』（分担共著）大阪大学出版会	2005年
『加西市史 第九巻：史料編3 近世2・近現代』（分担共著）加西市	2009年
『ナショナリズムの時代精神 幕末から冷戦後まで』（分担共著）萌書房	2009年
『加西市史 第二巻 本編2 近世・近現代』（分担共著）加西市	2011年
『現代日本と平生鈺三郎』（分担共著）晃洋書房	2015年
『21世紀の東アジアと歴史問題』（分担共著）法律文化社	2017年
『近現代東アジアの地域秩序と日本』（編著）大阪大学出版会	2020年
『「自由通商運動」とその時代 昭和戦前期大阪財界の政治経済史』（単著） 大阪大学出版会	2024年

II 論説

「満州事変期の平沼騏一郎——枢密院を中心に」	『阪大法学』第39巻第1号	1989年
「岡田内閣と国体明徴声明——軍部との関係を中心に」	『阪大法学』第40巻第1号	1990年
「平沼騏一郎と太平洋戦争——対外態度における二重性を中心に」	『阪大法学』第41巻第1号	1991年
「通商審議委員会と外務省通商局——日中戦争前における通商政策の側面」	『阪大法学』第42巻第2・3号	1992年
「『官界新体制』の政治過程」	『近畿大学法学』第42巻第3・4号	1995年
「平生鈺三郎と『新体制』（一）」	『阪大法学』第47巻第6号	1998年
「平生鈺三郎と『新体制』（二・完）」	『阪大法学』第48巻第1号	1998年
「地方行政協議会と戦時業務（一）」	『阪大法学』第50巻第3号	2000年
「地方行政協議会と戦時業務（二）」	『阪大法学』第50巻第5号	2001年
「地方行政協議会と戦時業務（三・完）」	『阪大法学』第51巻第1号	2001年
「床次竹二郎と平生鈺三郎（一）」	『阪大法学』第52巻第2号	2002年
「床次竹二郎と平生鈺三郎（二・完）」	『阪大法学』第52巻第6号	2003年

瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録

「実業同志会と大阪財界——武藤山治と平生夙三郎の関係を中心に」	『阪大法学』第55巻第3・4号	2005年
「戦時体制——その衝撃と1930年代の政治」	多胡圭一編『日本政治：過去と現在の対話』大阪大学出版会	2005年
「民政党内閣と大阪財界（一）——井上準之助と経済的自由主義」	『阪大法学』第57巻第4号	2007年
「民政党内閣と大阪財界（二）——井上準之助と経済的自由主義」	『阪大法学』第58巻第5号	2009年
「大阪帝国大学設立の政治過程——大阪財界と浜口雄幸内閣」	『阪大法学』第59巻第3・4号	2009年
「『極端なナショナリズム』の時代——戦時体制期——」	米原謙、長妻三佐雄編『ナショナリズムの時代精神 幕末から冷戦後まで』萌書房	2009年
「民政党内閣と大阪財界（三）——井上準之助と経済的自由主義」	『阪大法学』第62巻第2号	2012年
「日英通商航海条約改定交渉と第1次世界大戦後の通商政策——自由通商と保護関税・特惠関税・満洲問題の交錯」	『阪大法学』第63巻第3・4号	2013年
「自由通商運動と満州事変」	『阪大法学』第64巻第3・4号	2014年
「平生夙三郎と政財界」	安西敏三編『現代日本と平生夙三郎』晃洋書房	2015年
「『日満経済ブロック』政策の展開（一九三二年～一九三七年）」	『ヒストリア』第254号	2016年
「満州事変後における自由通商運動の軌跡——『大東亜共栄圏』への道」	『甲南法学』第57巻第3・4号	2017年
「戦後日本のアジア主義論 竹内好を中心に」	田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題』法律文化社	2017年
「東方文化連盟：一九三〇年代大阪のアジア主義」	『阪大法学』第69巻第3・4号	2019年
「大阪財界と戦時・大東亜共栄圏への道——栗本勇之助と政治経済研究会」	瀧口剛編『近現代東アジアの地域秩序と日本』大阪大学出版会	2020年
「民政党内各期における産業合理化、製鉄合同問題と大阪財界——自由通商運動を中心に」	『阪大法学』第70巻第3・4号	2020年

Ⅲ 翻訳

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------|-------|
| マイケル・A・バーンハート「日本陸軍の
新秩序構想と開戦決定」 | 細谷千博編『太平洋戦争』東京
大学出版会 | 1993年 |
|------------------------------------|-------------------------|-------|

Ⅳ その他

- | | | |
|--|---|-------|
| 「統帥権干犯」、「日満議定書」 | 『日本近代法史120講』法律文
化社 | 1992年 |
| 「Simon Reich ,The fruits of Fascism」
（書評） | 『レヴァイアサン』1992年夏号 | 1992年 |
| 「1991年の歴史学会——回顧と展望——近現
代 大正・昭和の内政」（共著） | 『史学雑誌』第101編 5号 | 1993年 |
| 「酒井哲哉著『大正デモクラシー体制の崩
壊』」（書評） | 『日本史研究』371号 | 1993年 |
| 「学界展望——一九九七年 日本政治史」
（共著） | 『年報政治学1998』岩波書店 | 1999年 |
| 「学界展望——二〇〇二年 日本政治史」
（共著） | 『年報政治学2003』岩波書店 | 2003年 |
| 「平生鈺三郎」 | 伊藤隆 季武嘉也編『近現代日
本人物史料情報辞典』吉川弘
文館 | 2004年 |
| 「床次竹二郎」 | 伊藤隆 季武嘉也編『近現代日
本人物史料情報辞典 2』吉川
弘文館 | 2005年 |
| 「小池聖一著『満州事変と対中国政策』」
（書評） | 『国際政治』142号 | 2005年 |
| 「太平洋問題調査会と日米関係」（コラム） | 五百旗頭真編『日米関係史』有
斐閣 | 2008年 |
| 「源川真希著『近衛新体制の思想と政治：
自由主義克服の時代』」（書評） | 『日本史研究』584号 | 2011年 |
| 「武藤山治と平生鈺三郎 実業同志会を通
じて」 | 『平生鈺三郎日記 第八巻 付
録』甲南学園 | 2013年 |
| 『公文書管理法制の比較法政史 データブ
ック編』（分担共著） | 科学研究費助成事業 基盤研究
(B) 報告書 | 2013年 |
| 『公文書管理法制の比較法政史 分析編』
（分担共著） | 科学研究費助成事業 基盤研究
(B) 報告書 | 2014年 |

瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録

「ディスカッサントⅠ」	田中仁編『20世紀中国政治史の 視角と方法：東洋文庫政治史 資料研究班ワークショップの 記録』Osaka University Forum on China	2014年
「萩原淳著『平沼騏一郎と近代日本』」（書 評）	『日本歴史』839号	2018年
「제2차 세계대전 후 일본의 아시아주의 다케우치 요시미를 중심으로」	『21세기동아시아와역사문제： 사색과대화를위한강의』다나 카히토시・유용태 엮음, Ha- nulMPlus	2018年
「東方文化連盟 一九三〇年代大阪のアジ ア主義」	『第一三回「現代中国与東亜新 格局」国際学術検討会 会議 手冊与論文集』	2019年
“The Discourse on Asianism in Postwar Japan”	<i>Historical narratives of East Asia in the 21st century: overcoming the politics of national identity</i> , edited by Tanaka Hitoshi, London: Routledge.	2020年